



① KCT-02C
(FM1波受信タイプ)



② KCTW-1001
(AM/FM計6波受信タイプ)

製品仕様	KCT-02C	KCTW-1001
受信放送局	FM1局(コミュニティFM)	AM/FM 合計6局
選局方法	—	各chに対応したプッシュスイッチ
受信周波数	F M	76.0 ~ 108.0 MHz
	A M	—
本体アンテナ	伸縮ロッドアンテナ(80cm、13段)	
外部アンテナ入力	F形座(C15形)(外部アンテナ接続、CATV受信兼用)	
オーディオ出力	600mW以上(8Ω、モノラル)	
非常灯機能	高輝度白色LED2灯	
外部出力	—	音声信号+オープンコレクタ出力
	専用アダプター DC9V.500mA	
電源/電池	単3形充電式ニッケル水素電池×3本 ※ 乾電池機種あり	
	ACアダプターを平時は常時接続(トリクル充電)	
消費電流 (電池のみで動作時)	電源オフ時(待機時):約20mA	
	電源オン時(ラジオ聴取時):約100mA	
	緊急起動時:約220mA	
サイズ	160(W)×113(H)×53(D)mm	170(W)×128(H)×56(D)mm
質量	485g(電池含む)	550g(電池含む)

販売元

兼藤産業株式会社

〒241-0831 神奈川県横浜市旭区左近山9-5-203 TEL: 045-351-0940 FAX: 045-353-2225
http://www.kanefuji.net Email: info@kanefuji.net

技術・企画・開発協力

URO電子工業株式会社

〒273-0046 千葉県船橋市上山町1-242-1 TEL: 047-303-6651

株式会社エフエムくらしき(大久保)

〒710-8528 岡山県倉敷市白楽町520-28
TEL: 086-430-0600 FAX: 086-430-0667
http://www.fmkurashiki.com

株式会社倉敷ケーブルテレビ(下島)

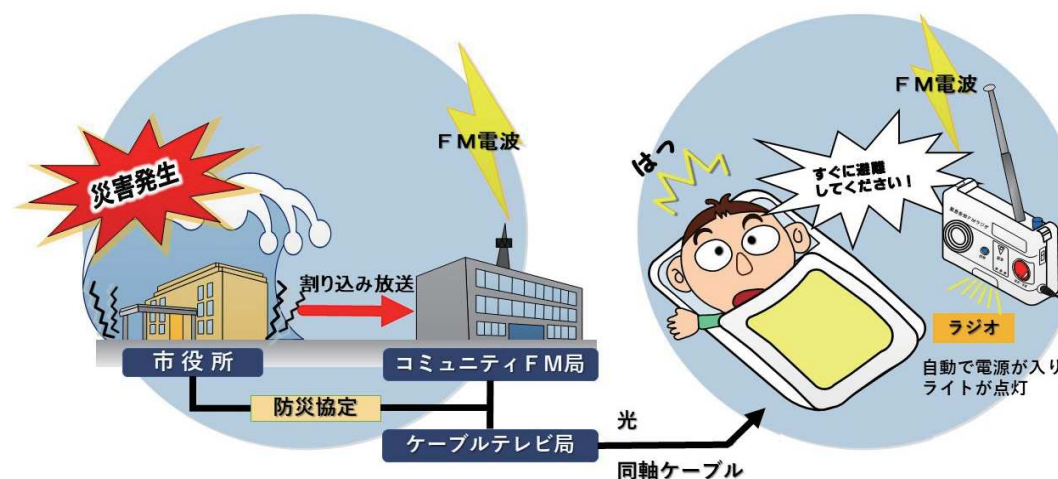
〒710-0803 岡山県倉敷市中島2661-17
TEL: 0086-466-1717 FAX: 086-466-1735
https://www.kct.co.jp Email: shimo@kct.co.jp

詳しくは兼藤産業・エフエムくらしきのホームページをご覧ください。
外観や仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

お取り扱い代理店

緊急告知FMラジオ

「こくっち」



緊急告知放送はコミュニティの重要な情報伝達手段です!

大雨のため
〇〇地区の皆さんに
避難指示が出ました。
至急、避難して下さい。



緊急告知ラジオ10の特徴

- ① 雨・風に影響されない家の中で緊急放送を聞くことができるシステムです。
- ② 地域のFM局を活用しますので、防災行政無線よりも構築費用・運用費用を抑えることができます。
- ③ 平常時はラジオとして、緊急時は自動起動する告知放送端末として使用することができます。(大音量・ランプ点滅での告知放送)
- ④ 設定により、緊急放送の他、中音量での一般放送や地区ごとに起動させるグループ放送も行うことができます。
- ⑤ 防災無線を補完するだけでなく、Jアラートの緊急放送をFM波に割り込ませ、夜間でも自動的に放送することができます。
- ⑥ 端末(ラジオ)の起動・停止には国際的に規格化されているDTMF信号を使用していますので、安心してお使いになれます。
- ⑦ バッテリー(電池)を内蔵しておりますので停電時でも受信可能です。また、停電時には照明が自動的に点灯し、暗闇での行動の安全を確保します。
- ⑧ 安心の充電電池仕様です。(機種により乾電池仕様モデルもございます)
- ⑨ ロッドアンテナ受信(空中波)の他、有線(CATVなど)でもご利用頂けます。
- ⑩ コミュニティFMに特化した1波専用のKCTシリーズと、平時は他の放送(AM/FM 計6局受信)を聴くことができるKCTWシリーズがあります。

緊急告知FMラジオの歩み

2006年(平成18年) コミュニティFM局と協働した「緊急告知FMラジオ」システムを全国で初めて自治体にご提案しました。

2007年(平成19年) 総務省消防庁第11回まちづくり大賞「情報防災部門 消防庁長官賞」を受賞しました。

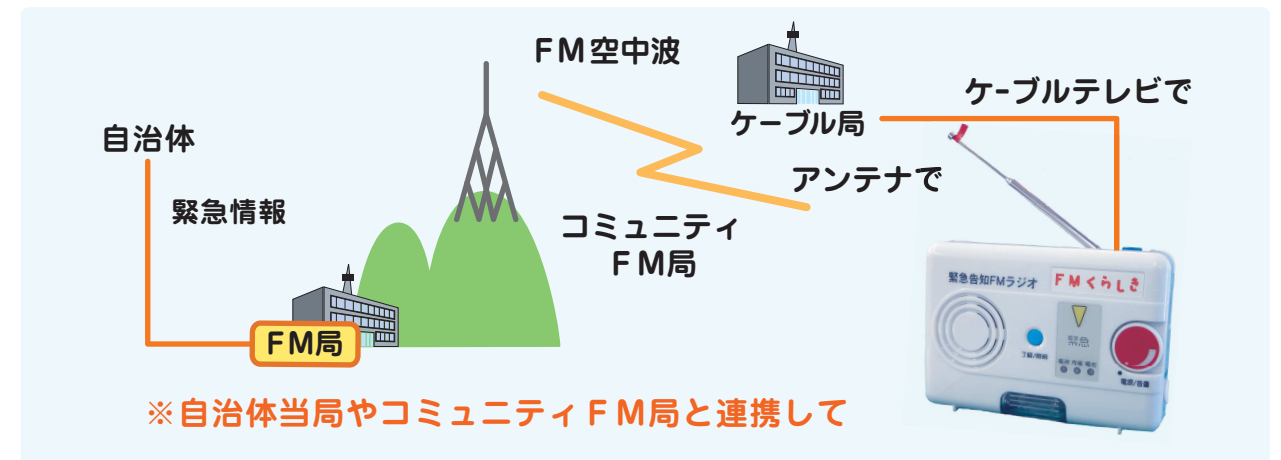
2008年(平成20年) 内閣府の広報に緊急告知ラジオの事例が掲載されました。

阪神淡路大震災・東日本大震災など大地震や津波、豪雨による災害が起こるたびにラジオの有効性が見直され、現在では北海道から九州まで全国で地域FM局を活用した本システムの導入が進んでいます。

緊急告知ラジオの仕組み

1 システムイメージ図

本システムでは地域のFM局(主にコミュニティFM局)と自治体が連携することで、ラジオを通じ緊急を要する情報や一般行政情報を地域住民に確実に伝達することができます。



2 伝達することができる主な放送内容

- 防災行政無線で流す情報(避難勧告、避難指示など)
- Jアラート(全国瞬時警報システム)から流れる情報(緊急地震速報、気象等の特別警報など)
- その他緊急を要する情報
- 一般行政情報

3 システム導入に際して

- FM局へ割り込むシステムのため、自治体とFM局間での協議が必要です。(防災協定の締結など)
- 緊急告知ラジオを起動・停止させるための信号を送出させる仕組みが必要となります。
- 仕組みが出来上がれば少ない台数からでも運用することができます。

機器設置の場合の例

